

第5 公営企業の業務の状況

1 電気事業

(1) 令和7年度予算及び経営状況

年間総販売電力量を1億6,200万キロワットアワーと見込み、これを基に収益的収支の予算を編成しています。その予定額は、電気事業収益26億848万5千円、電気事業費用24億8,207万3千円を見込んでいます。

また、資本的収支については、資本的収入1,771万1千円、資本的支出3億9,983万2千円を計上し、資源の有効利用と販売電力量の増加を図るため、既設水力発電所の設備更新に合わせたリパワリング（水車ランナの改造等による出力向上）を計画的に推進する取組として、新阿武川発電所の水車ランナ等の制作を引き続き実施します。

なお、水力発電の経営は、気象条件に左右されるので、貯留水の効率的運用を図ることはもちろん、気象状況の早期把握、関係機関との密接な連携などを図り、販売電力量の確保による収入の増加と経費の効率的執行により経営の安定化に努めます。

本年度の業務予定量並びに収益的収支及び資本的収支の予定額は、次の表のとおりです。

第11表 令和7年度電気事業の業務予定量と前年度との比較

区 分	令 和 7 年 度 (A)	令 和 6 年 度 (B)	増 減 (A)-(B)
年 間 総 販 売 電 力 量	161,579,000 KWH	149,523,000 KWH	12,056,000 KWH

第12表 令和7年度電気事業会計予算の前年度との比較

(単位 千円、%)

区 分	令和7年度 当初予算額(A)	令和6年度 当初予算額(B)	比 較 (A)-(B)	(A)/(B)
収 益 的 収 入				
電 気 事 業 収 益	2,608,485	2,538,477	70,008	102.8
営 業 収 益	2,558,302	2,500,553	57,749	102.3
附 帯 事 業 収 益	25,431	25,376	55	100.2
財 務 収 益	8,253	152	8,101	5,429.6
事 業 外 収 益	16,496	12,393	4,103	133.1
特 別 利 益	3	3	0	100.0
収 益 的 支 出				
電 気 事 業 費 用	2,482,073	2,320,300	161,773	107.0
営 業 費 用	2,390,702	2,197,722	192,980	108.8
附 帯 事 業 費 用	21,797	23,664	△ 1,867	92.1
財 務 費 用	116	304	△ 188	38.2
事 業 外 費 用	66,455	95,607	△ 29,152	69.5
特 別 損 失	3	3	0	100.0
予 備 費	3,000	3,000	0	100.0
資 本 的 収 入				
資 本 的 収 入	17,711	5,731	11,980	309.0
資 本 剰 余 金	15,911	4,546	11,365	350.0
固 定 資 産 収 入	1	1	0	100.0
雑 収 入	1,799	1,184	615	151.9
資 本 的 支 出				
資 本 的 支 出	399,832	319,949	79,883	125.0
建 設 費	0	416	△ 416	0.0
改 良 費	385,249	303,007	82,242	127.1
投 資	1	1	0	100.0
償 還 金	11,482	13,425	△ 1,943	85.5
補 助 金 返 還 金	100	100	0	100.0
予 備 費	3,000	3,000	0	100.0

資本的収入額が資本的支出額に対して不足する額3億8,212万1千円は、内部留保資金(損益勘定留保資金及び資本的収支調整額)で補てんします。

(2) 令和6年度下半期の業務の概要

令和6年度は、年間を通じた降雨量が、県下主要ダム（電気事業関連）地点で平年の105.2%となり、令和6年度の販売電力量は目標に対して105.2%、電力料金収入（「容量市場」分除く）は目標に対して105.4%となりました。

最終の2月補正では、収益的収入予算においては、電力料金収入の増などにより1億9,986万円の増額補正を、収益的支出予算においては、修繕費の増などにより1億7,271万7千円の増額補正を、それぞれ行いました。

この結果、最終予算は、収益的収入において27億3,833万7千円、収益的支出において24億9,301万7千円、資本的収入において96万7千円、資本的支出において3億8,911万7千円となりました。

また、徳山発電所に係るオーバーホールを引き続き実施しました。

第13表 企業債及び一時借入金の状況(電気事業)

区 分	発 行 総 額	償 還 額		令 和 6 年 度 末 現 在 高
		(令和7年3月31日)		
		当年度償還額	償還額累計	
企 業 債	236,000	13,424	220,373	15,627
錦川水系発電所	118,000	6,870	113,149	4,851
佐波川発電所	40,000	2,072	33,783	6,217
新阿武川発電所	78,000	4,482	73,441	4,559
一 時 借 入 金	0	0	0	0

2 工業用水道事業

(1) 令和7年度予算及び経営状況

年間総給水量5億7,200万 m^3 と見込み、これを基に収益的収支の予算を編成しています。その予定額は、工業用水道事業収益74億4,519万9千円、工業用水道事業費用65億8,203万円を見込んでいます。

また、資本的収支については、資本的収入20億9,074万2千円、資本的支出65億6,523万4千円を計上し、企業債11億2,244万2千円を償還するほか、工業用水の安定した供給に資するため、改良事業として木屋川工業用水道二条化事業などを引き続き実施します。

さらに、新規受水企業や契約水量を増やす企業に対して、引込管設置等の初期費用の支援など需要開拓を図る諸施策に引き続き取り組み、工業用水道事業の経営基盤強化に努めます。

本年度の業務予定量並びに収益的収支及び資本的収支の予定額は、次の表のとおりです。

第14表 令和7年度工業用水道事業の業務予定量と前年度との比較

区 分	令 和 7 年 度 (A)	令 和 6 年 度 (B)	増 減 (A)-(B)
年 間 総 給 水 量	572,473,300 m^3	571,800,000 m^3	673,300 m^3

第15表 令和7年度工業用水道事業会計予算の前年度との比較

(単位 千円、%)

区 分	令和7年度 当初予算額(A)	令和6年度 当初予算額(B)	比 較 (A)-(B)	(A)／(B)
収 益 的 収 入				
工業用水道事業収益	7,445,199	7,318,964	126,235	101.7
営業収益	6,807,322	6,826,678	△ 19,356	99.7
営業外収益	637,874	492,283	145,591	129.6
特別利益	3	3	0	100.0
収 益 的 支 出				
工業用水道事業費用	6,582,030	6,636,676	△ 54,646	99.2
営業費用	6,412,220	6,443,079	△ 30,859	99.5
営業外費用	159,807	183,594	△ 23,787	87.0
特別損失	3	3	0	100.0
予備費	10,000	10,000	0	100.0
資 本 的 収 入				
資本的収入	2,090,742	1,812,809	277,933	115.3
企業債	1,570,000	1,130,000	440,000	138.9
資本剰余金	283,066	247,154	35,912	114.5
固定資産収入	1	1	0	100.0
雑収入	237,675	435,654	△ 197,979	54.6
資 本 的 支 出				
資本的支出	6,565,234	5,332,775	1,232,459	123.1
改良費	5,401,470	4,183,272	1,218,198	129.1
投資	1	1	0	100.0
償還金	1,122,442	1,134,502	△ 12,060	98.9
補助金返還金	31,321	5,000	26,321	626.4
予備費	10,000	10,000	0	100.0

資本的収入額が資本的支出額に対して不足する額44億7,449万2千円は、内部留保資金(損益勘定留保資金及び資本的収支調整額)で補てんします。

(2) 令和6年度下半期の業務の概要

令和6年度は、一部地域で渇水に伴う自主節水が行われましたが、企業活動に大きな影響を出すことなく給水することができました。

また、さらなる工業用水の安定供給に資するため、木屋川工業用水道二条化事業などを実施するとともに、需要の開拓、企業債残高の縮減などの経営基盤の強化に取り組みました。

最終の2月補正では、収益的収入予算においては、受取利息の増加などにより47万9千円の増額補正を、収益的支出予算においては、動力費の減少などにより1億853万7千円の減額補正を、それぞれ行いました。また、資本的収入予算においては、企業債の減少などにより10億309万6千円の減額補正を、資本的支出予算においては、改良費の減少などにより3億9,557万6千円の減額補正を、それぞれ行いました。

この結果、最終予算は、収益的収入において73億1,944万3千円、収益的支出において65億2,813万9千円、資本的収入において8億971万3千円、資本的支出において49億3,719万9千円となりました。

第16表 企業債及び一時借入金の状況(工業用水道事業)

(令和7年3月31日)

(単位 千円)

区 分	発 行 総 額	償 還 額		令 和 6 年 度 末 現 在 高
		当年度償還額	償還額累計	
企 業 債	25,108,900	1,133,189	11,408,639	13,700,261
小瀬川工業用水道	831,500	43,255	351,702	479,798
向道・川上工業用水道	423,000	20,925	268,223	154,777
周南工業用水道	7,893,600	385,409	4,683,920	3,209,680
佐波川工業用水道	900,500	30,714	233,423	667,077
厚東川工業用水道	3,966,300	193,548	1,476,545	2,489,755
木屋川工業用水道	4,249,100	128,059	1,161,131	3,087,969
富田夜市川工業用水道	1,281,200	67,876	643,973	637,227
厚東川第2期工業用水道	1,917,000	109,167	785,648	1,131,352
厚狭川工業用水道	2,370,700	88,094	619,927	1,750,773
小瀬川第2期工業用水道	1,276,000	66,142	1,184,147	91,853
一 時 借 入 金	0	0	0	0

3 流域下水道事業

(1) 令和7年度予算及び経営状況

年間総処理水量を1,541万 m^3 と見込み、これを基に収益的収支の予算を編成しています。その予定額は、流域下水道事業収益21億1,185万5千円、流域下水道事業費用21億1,185万5千円を見込んでいます。

また、資本的収支については、資本的収入17億496万5千円、資本的支出17億496万5千円を計上し、汚泥処理施設などの施設の整備や企業債の償還を行います。

本年度の業務予定量並びに収益的収支及び資本的収支の予定額は、次の表のとおりです。

第17表 令和7年度流域下水道事業の業務予定量と前年度との比較

区 分	令 和 7 年 度 (A)	令 和 6 年 度 (B)	増 減 (A)-(B)
年 間 総 処 理 水 量	15,406,581 m^3	12,046,450 m^3	3,360,131 m^3

第18表 令和7年度流域下水道事業会計予算の前年度との比較

(単位 千円、%)

区 分	令和7年度 当初予算額(A)	令和6年度 当初予算額(B)	比 較 (A)-(B)	(A)/(B)
収 益 的 収 入				
流域下水道事業収益	2,111,855	1,858,509	253,346	113.6
営 業 収 益	1,140,964	934,916	206,048	122.0
営 業 外 収 益	970,891	923,593	47,298	105.1
収 益 的 支 出				
流域下水道事業費用	2,111,855	1,858,509	253,346	113.6
営 業 費 用	2,067,491	1,823,273	244,218	113.4
営 業 外 費 用	44,364	35,236	9,128	125.9
資 本 的 収 入				
資 本 的 収 入	1,704,965	1,218,432	486,533	139.9
企 業 債	374,200	247,600	126,600	151.1
国 庫 支 出 金	820,974	579,332	241,642	141.7
負 担 金	509,791	391,500	118,291	130.2
資 本 的 支 出				
資 本 的 支 出	1,704,965	1,218,432	486,533	139.9
建 設 改 良 費	1,400,104	912,354	487,750	153.5
固 定 資 産 購 入 費	8,351	5,134	3,217	162.7
償 還 金	296,510	300,944	△ 4,434	98.5

(2) 令和6年度下半期の業務の概要

周南流域下水道事業及び田布施川流域下水道事業の実施により生活環境の向上や水質保全に取り組んでいます。

令和6年度は、下水処理場における長寿命化工事などに取り組みました。

最終の2月補正では、収益的収入予算においては、営業収益の減少などにより1億576万8千円の減額補正を、収益的支出予算においては、営業費用の減少などにより1億576万8千円の減額補正を、それぞれ行いました。また、資本的収入予算においては、国庫支出金の減少などにより7,427万2千円の減額補正を、資本的支出予算においては、建設改良費の減少などにより7,427万2千円の減額補正を、それぞれ行いました。

この結果、最終予算は、収益的収入において17億5,274万1千円、収益的支出において17億5,274万1千円、資本的収入において11億4,416万円、資本的支出において11億4,416万円となりました。

第19表 企業債及び一時借入金の状況(流域下水道事業)

		(令和7年3月31日)			(単位 千円)
区 分	発 行 総 額	債 還 額		令 和 6 年 度 末 現 在 高	
		令和6年度償還額	償還額累計		
企 業 債	4,149,482	296,842	2,013,147	2,136,335	
一 時 借 入 金	0	0	0	0	